

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
港都敦賀賑わい交流地区

平成28年7月

福井県敦賀市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	JR敦賀駅乗降客数	人/年	2,044,000	2,250,000	3,024,000	確定 見込み	○ ●	あり なし	2,471,780	H27年3月	○	<p>評価値(見込み値)の推計で想定した伸び率に比べ、実際の乗降客数は伸びなかった。</p> <p>■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	<p>確定値は評価値(見込み値)よりも低くなったが、目標値を大きく上回っている。これは、本事業による「人道の港」としての敦賀港の歴史のPR、景観整備による観光資源の充実、芸術・文化分野のイベント開催、敦賀駅西地区における大学立地等が要因と考えられ、大目標である「賑わい再生」が進んでいると評価できる。</p>
指標2	観光客の滞在時間	時間	4.7	5.0	5.6	確定 見込み	● ○	あり なし		H 年 月		<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	<p>評価値は目標値を上回っており、これは、本事業による「人道の港」としての敦賀港の歴史のPRや、舟溜まり周辺における景観整備による観光資源の充実、芸術・文化分野のイベント開催、案内板の設置等が要因と考えられ、大目標である「賑わい再生」が進んでいると評価できる。</p>
指標3	子供・高齢者の交通事故発生件数	件/年	107	100	77	確定 見込み	○ ●	あり なし	59	H27年1月	○	<p>評価値(見込み値)の推計で想定した減少率に比べ、実際は件数が大幅に減少した。</p> <p>■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	<p>確定値は目標値及び評価値を大幅に下回っている。これは、本事業による道路の新設・改良事業や土地区画整理事業による道路整備、防犯灯の整備等により、歩行空間の安全性、快適性が向上したことが要因と考えられ、目標である「居住環境の向上」が進んでいると評価できる。</p>
指標4						確定 見込み		あり なし				<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み							<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	
その他の数値指標2					確定 見込み							<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	
その他の数値指標3					確定 見込み							<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	更なる賑わいの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>金ヶ崎周辺への集客向上のために「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会が実施するソフト事業への支援（ソフト事業:「敦賀港イルミネーション ミライエ」や「つるが鉄道フェスティバル」などのイベント開催）</li> <li>舟溜まり周辺等（蓬萊町地区、相生町地区、門前町地区）における、「景観形成推進計画」に基づく建築物等の外観整備への一部支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会によるイベント開催により、金ヶ崎周辺への観光客数が大幅に増加した。 【敦賀港イルミネーション・ミライエ 来場者数】 [H26] 11,000人⇒[H27] 43,060人</li> <li>舟溜まり周辺等での建築物等外観整備への一部支援により市街地の景観向上が図られ、観光客数が増加した。 【舟溜まり周辺での主要施設の観光客数】 [H24] 21,900人⇒[H27] 40,750人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続して「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会が実施するソフト事業への支援や、舟溜まり周辺での建築物等外観整備への一部支援を行い、賑わい拠点の1つである敦賀港周辺（金ヶ崎周辺・舟溜まり周辺等）での更なる賑わいの創出（観光客（リピーター）の増加）を図る必要がある。</li> </ul>
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	敦賀駅西地区土地区画整理事業と観光交流センター整備の促進 観光交流センターを活用した市民と観光客との交流促進 駅周辺の景観整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀駅西地区土地区画整理事業の実施（工事は概ね完了。平成29年度事業完了予定。）</li> <li>観光交流センター整備の実施（平成26年4月供用開始）</li> <li>駅前広場の拡張整備（平成27年10月供用開始）</li> <li>駅前広場と敦賀駅西地区内の道路について、観光交流センターと統一感のある高質化整備の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光交流センター（敦賀駅交流施設オルパーク）竣工後、センター内で様々なイベントを開催することにより、市民や観光客の集客が図られ、少しずつ賑わいがでてきている。</li> <li>また、駅前広場の拡張整備（レイアウト変更）により、駅へのアクセス性が向上し、駅周辺での集客向上に寄与している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀駅西地区土地区画整理事業の早期完了を目指す必要がある。</li> <li>併せて、敦賀駅西地区内の市有地（土地活用エリア）の有効活用を図り、賑わい拠点の1つである敦賀駅周辺での更なる賑わいの創出を図る必要がある。</li> </ul>
	敦賀港周辺（特に金ヶ崎周辺）における賑わい拠点整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的建造物である赤レンガ倉庫を商業施設（レストラン館、鉄道と港ジオラマ館）として活用するリノベーションの実施（平成27年10月オープン）</li> <li>歴史的建造物である旧敦賀港駅ランプ小屋の復元（屋根の葺き直しなど）、周辺整備の実施（平成27年10月一般公開開始）</li> <li>舟溜まり周辺での道路の高質化整備（高質舗装、電線類地中化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤レンガ倉庫の商業施設へのリノベーションや旧敦賀港駅ランプ小屋の復元により、金ヶ崎周辺への観光客数が大幅に増加した。 【金ヶ崎周辺での主要施設の観光客数】 [H26] 41,410人⇒[H27] 137,719人</li> <li>舟溜まり周辺での道路の高質化整備により市街地の景観向上が図られ、観光客数が増加した。 【舟溜まり周辺での主要施設の観光客数】 [H24] 21,900人⇒[H27] 40,750人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金ヶ崎周辺のまちづくりのテーマである「鉄道と港」に「人道の港」を加えて敦賀を内外にPRし、更なる賑わいの創出を図るために、既存施設「人道の港敦賀ムゼウム」（展示・交流施設）の拡充や、周辺環境の整備を行う必要がある。</li> </ul>
	更なる居住環境の安全性・快適性の向上 空き家・空地の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要道路での歩道のバリアフリー化、生活道路の側溝等の整備</li> <li>市内の空き家・空き地情報の提供を行う「敦賀市空き家・空き地情報バンク」制度の充実（空き家だけでなく、空き地も含めた情報提供などの充実）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道のバリアフリー化や生活道路の側溝等の整備により、歩行者通行や居住環境の安全・快適性が向上している。</li> <li>「敦賀市空き家・空き地情報バンク」への空き地も含めた情報登録が増えつつある。 【登録件数】19件（H28.6時点）うち7件 成約済 [H20～24年度] 8件 ⇒[H25～28年度（現時点）] 11件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、生活道路の側溝等の整備を行い、更なる居住環境の安全・快適性の向上を図る必要がある。</li> <li>今後、「敦賀市空き家・空き地情報バンク」の更なる活用を図る必要がある。</li> </ul>
	2つの賑わい拠点を結ぶ動線における安全・快適性の向上	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、2つの賑わい拠点を結ぶ国道8号においては、歩行者通行の安全・快適性を高めるとともに、沿道商店街の賑わいの創出や商業振興等に活用する空間を創出するため、道路空間の再編・整備を推進する必要がある。</li> </ul>

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項